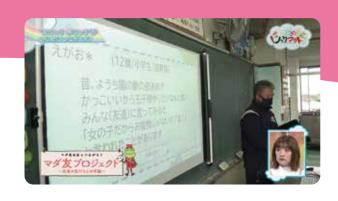
ともに生きる共生

いじめをノックアウト! "女らしさ 男らしさ"が いじめにつながる!?

放送日:2021年1月22日 放送時間:10分



対象校種 小学校4年生以上 中学校 高杉

対象教科 特活 道徳 総合

この番組の良さ



■ LGBTQの理解と課題

性的指向や性自認が大多数の人と異なる性的少数者にあたる方々を指す言葉として「LGBT」が使われるようになりました。そして、最近では、LGBTにQを加えて、自分の性自認や性的指向が定まっていない人、あえて定めていない人にあたる方々に対しても使われるようになりました。しかし、まだ性的少数者(性的マイノリティー)の困難を知り、理解している人は少ないのが現状です。本番組の視聴を通して、性的マイノリティーについて知るきっかけとなり、特に学校現場での課題を見つけ、どのように配慮するべきかについて考えることができます。

● 人権を尊重し合う社会へ

私たちは性別に関係なく、人としての権利を 持っています。性に関わる考え方によって、差別 や不利益を被ることはあってはいけないことです。 多様な考え方や生き方を尊重し、その権利を保障 する社会こそが、目指すべき社会です。番組視聴 を通して、多様な考え方への理解をすることがで きます。



執筆者 石狩市立双葉小学校 教諭 前多香織

番組活用のポイント

●「男らしさ、女らしさ」の認識の違い

時代ごとに「男らしさ、女らしさ」の捉え方が変化してきました。例えば、小学校の入学時では、男子は黒いランドセル、女子は赤いランドセルを背負う姿が多く見られた時代がありました。最近では、多様な色や形のランドセルがあり、入学式では男女関係なく、好きな色のランドセルを背負う姿に変わっています。しかし、現在でも「男らしさや女らしさ」について、差別につながるような発言や考え方がまだ残っています。特に、性を区別して扱う場面がある学校現場では、気付かぬうちに差別に繋がってしまっている場合があります。本番組は、児童生徒に「男らしさ、女らしさ」への考えを問い直し、多様な考え方に触れ、交流することに活用できます。

● もし、身近にLGBTQに悩む友達がいたら?

本番組には、LGBTQの方が、学生時代に悩み、差別やいじめ体験を語る場面があります。自分の身近にも性同一性障害に悩んでいる友達がいるかもしれない、またはこれから出会うかもしれないと仮定した時、自分はどのように相手を理解し、関わっていくかについて考えたりする学習に、番組を活用することができます。また、番組内で同じテーマを考える中学生の発言を参考にしながら学習すると、より自分の考えを深めることができます。

■ LGBTQ教育・ジェンダー教育の資料として

現在、日本の教育の中でLGBTQの子供がいることは事実であり、その対応が求められています。文部科学省は、教職員向けに「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について」(2015)を提示しました。教育現場では、さらに研修を続けることが求められ、本番組はLGBTQにあたる児童・生徒への理解を深める資料として活用できます。また、すでにティーチャーズ・ライブラリーにラインナップされている番組・道徳ドキュメント「男らしさ、女らしさって何?」もあわせて視聴すると、効果的に研修を深めることができます。

学習展開例

性別に悩む友達がいたら、 自分はどのように関わったらよいだろうか。

体の性別と心の性別が違うことは悪いことではない。

相手を理解し仲良く関わっていけばよい。

自分と異なる考えを持っている友達がいても、人格を否定しないで、

対象校種 小学校

体で交流する。

【学び向かう力 人間性等】

かを考えることができたか。

・LGBTQに悩む人たちへの関心をもち、多様

な考えを理解し、どのように関わっていく

対象教科

「授業時間 45分」 部分視聴

